

令和7年(2025年)8月28日(木)  
(公財)広島平和文化センター  
平和記念資料館学芸展示課 課長：豆谷  
電話：242-7796 内線 5804  
担当：福島

## 広島平和記念資料館本館「市民が描いた原爆の絵」の原画の展示入替

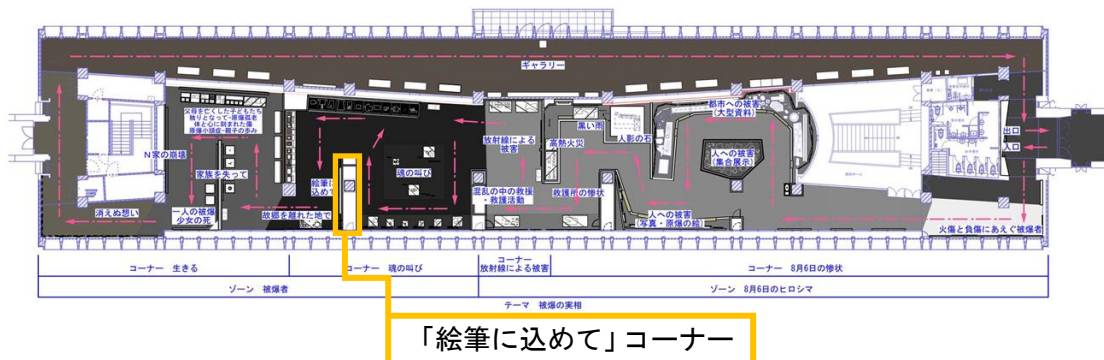
広島平和記念資料館本館展示「絵筆に込めて」のコーナーには、被爆者が当時の情景を思い出して描いた「市民が描いた原爆の絵」の原画を展示しています。この度、展示による絵の劣化を防ぎ、長期的に保存していくため、展示中の6点の絵を入れ替えます。絵の入れ替えは今年の2月以来となり、リニューアル後11回目となります。

### 1 展示期間

令和7年(2025年)9月2日(火)～令和8年(2026年)2月15日(日)

### 2 場所

広島平和記念資料館本館展示「絵筆に込めて」コーナー



### 3 内容

原爆で被災した川の惨状に関する絵 6点 (別紙参照)

(参考)

市民が描いた原爆の絵の収集は1974年(昭和49年)、一人の被爆者が自らの体験を描いた絵をNHK広島放送局に持ち込んだことがきっかけとなって始まり、資料館は現在約5,000点の絵を所蔵しています。

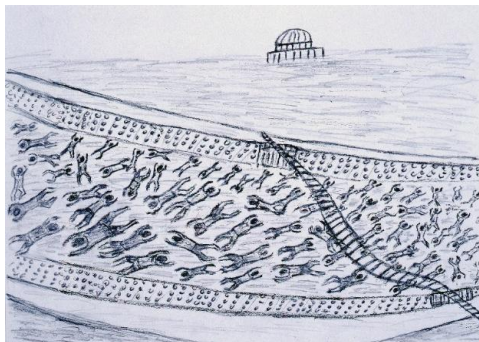
別紙



GE14-05 原田知恵作 (被爆当時18歳/絵を描いた年齢47歳)  
8月6日/爆心地から1,550m/東白島町 常葉橋付近  
川の中で助けを求める人、水を求めてたどりついた人



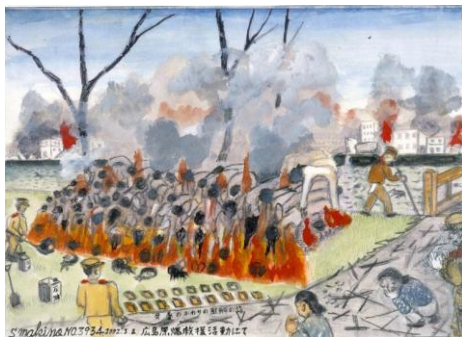
GE17-22 若井澈作 (39歳/68歳)  
8月6日/2,000m/千田町三丁目 県立広島工業学校前  
川の土手に横たわる半死半生の人たち



NG219-02 中平武司作 (19歳/76歳)  
8月6日/1,350m/稲荷町電車専用橋付近  
川の中は犠牲者でいっぱいだった。



GE07-28 前田正一作 (32歳/62歳)  
8月9日頃/1,470m/三篠橋  
橋の下のよどみにたまった遺体



NG002-01-02 牧野俊介作 (29歳/86歳)  
8月7~9日/場所不明  
川から引き上げた死体の火葬



GE13-47 古川正一作 (32歳/62歳)  
8月9日/京橋川下流  
目の玉が飛び出した死体